

平成28年台風10号及び低気圧 大和川出水速報 (第1報)

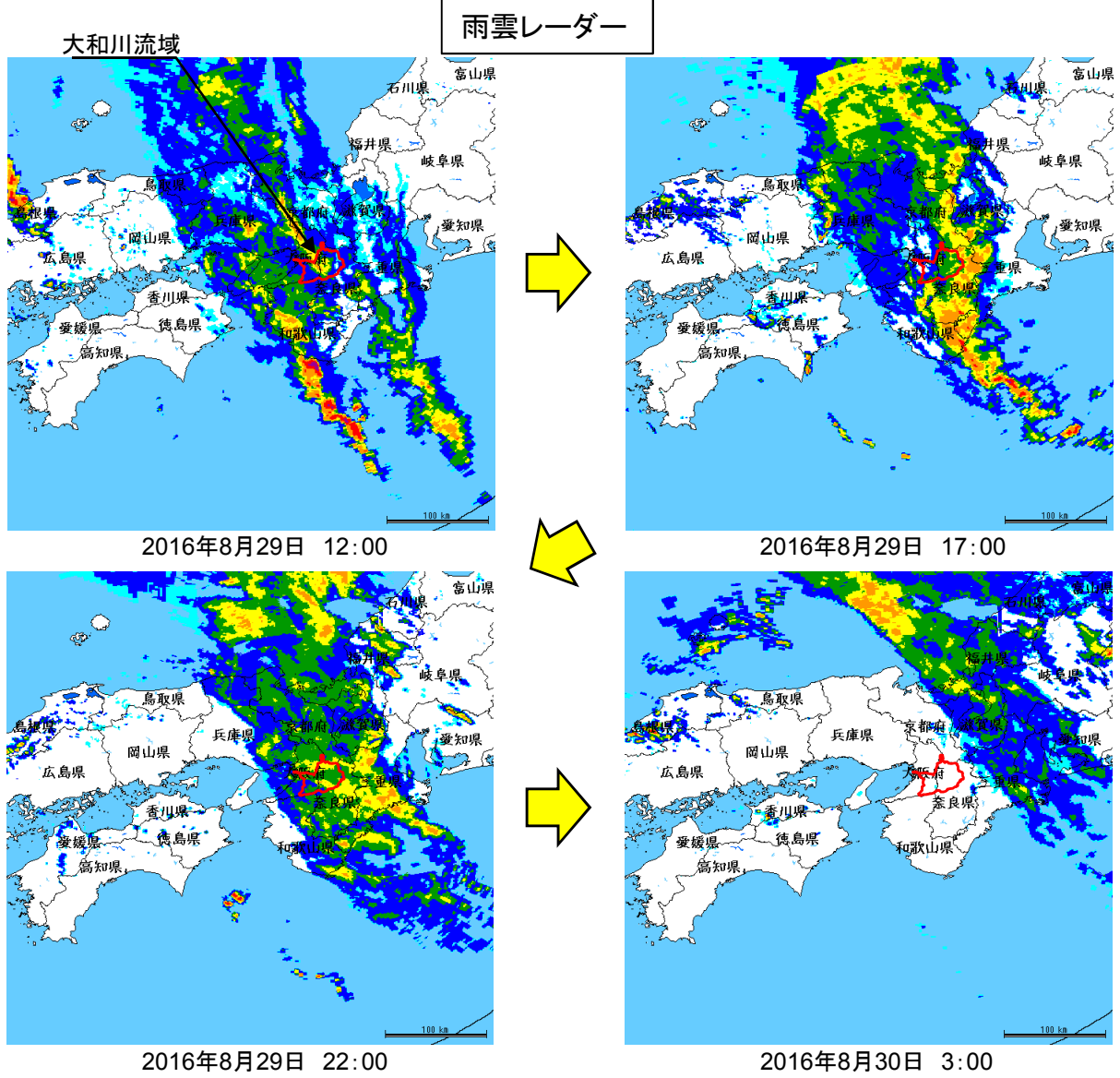
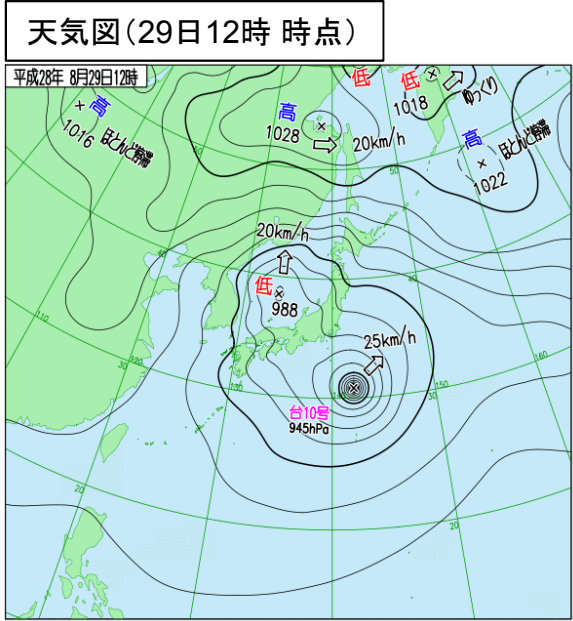
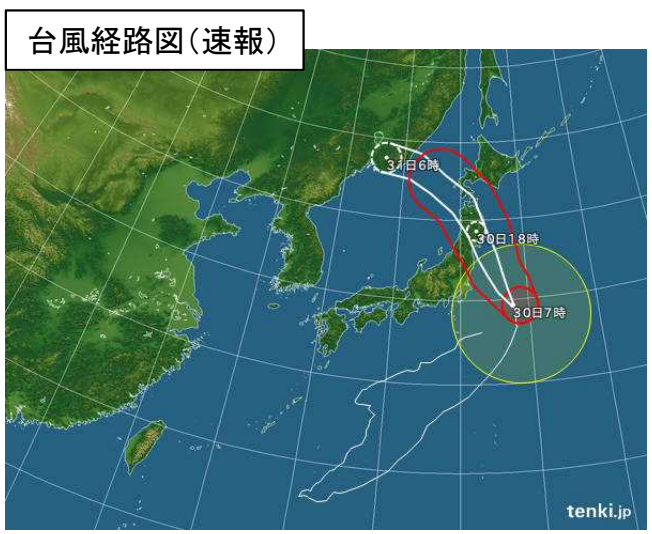
平成28年9月1日
大和川河川事務所

※本資料中の数値は速報値であり、今後の精査により変更することがあります。

気象の状況(台風10号及び低気圧)

○8月19日に八丈島近海で発生した台風10号は南西に進み、発達しながら沖縄方面に接近した後に反転して本州の南を通過し、30日18時前に岩手県大船渡市付近に上陸した。

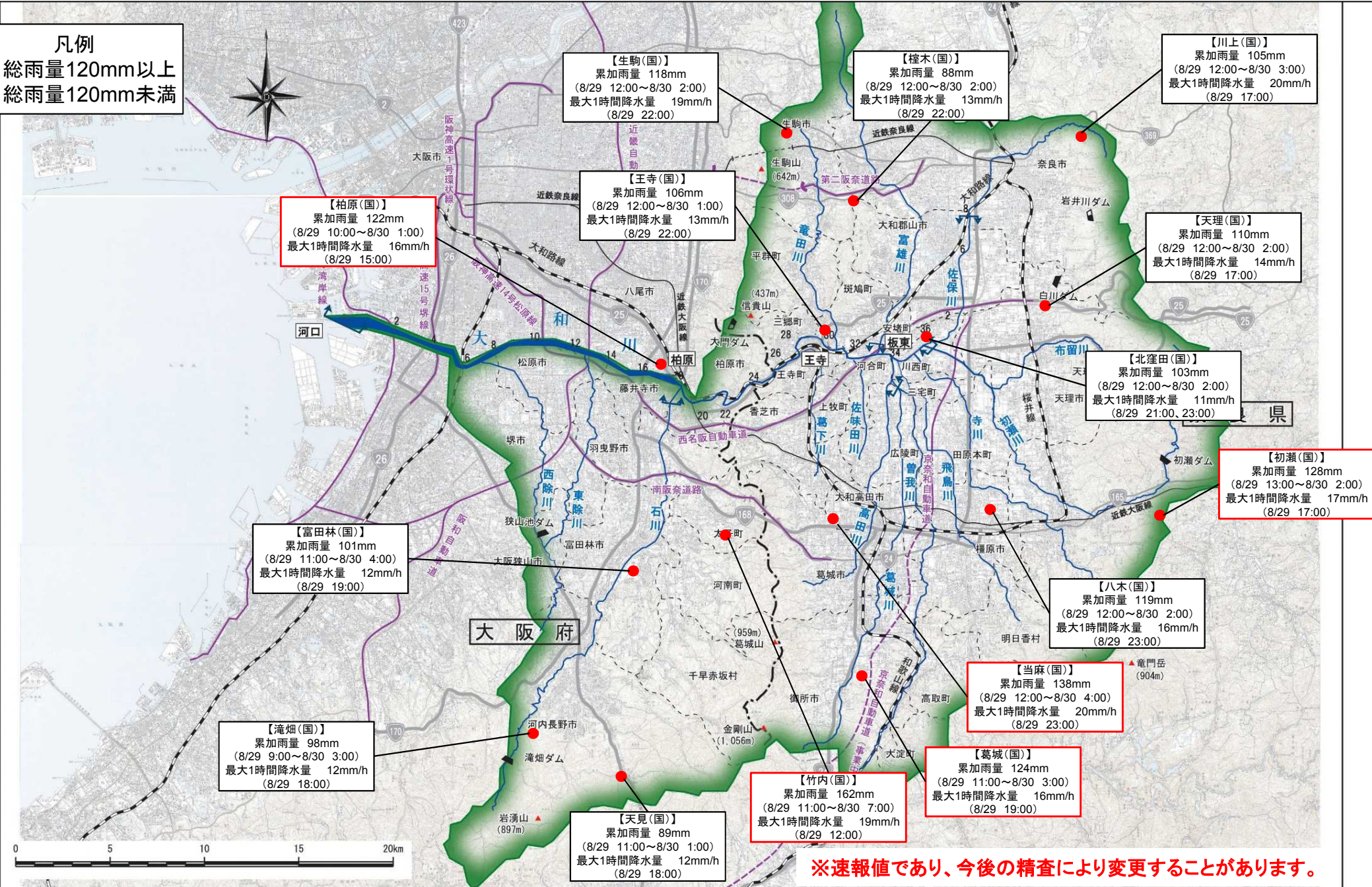
○本州南側を通過の際、日本海に停滞する低気圧(寒冷渦)からの冷涼で乾燥した空気と台風の南からの暖かくしめった空気がぶつかり、活発な線状の降水帯を形成した。



大和川流域における降雨の状況

○大和川流域では、多いところで120mmを超える累加雨量を観測。

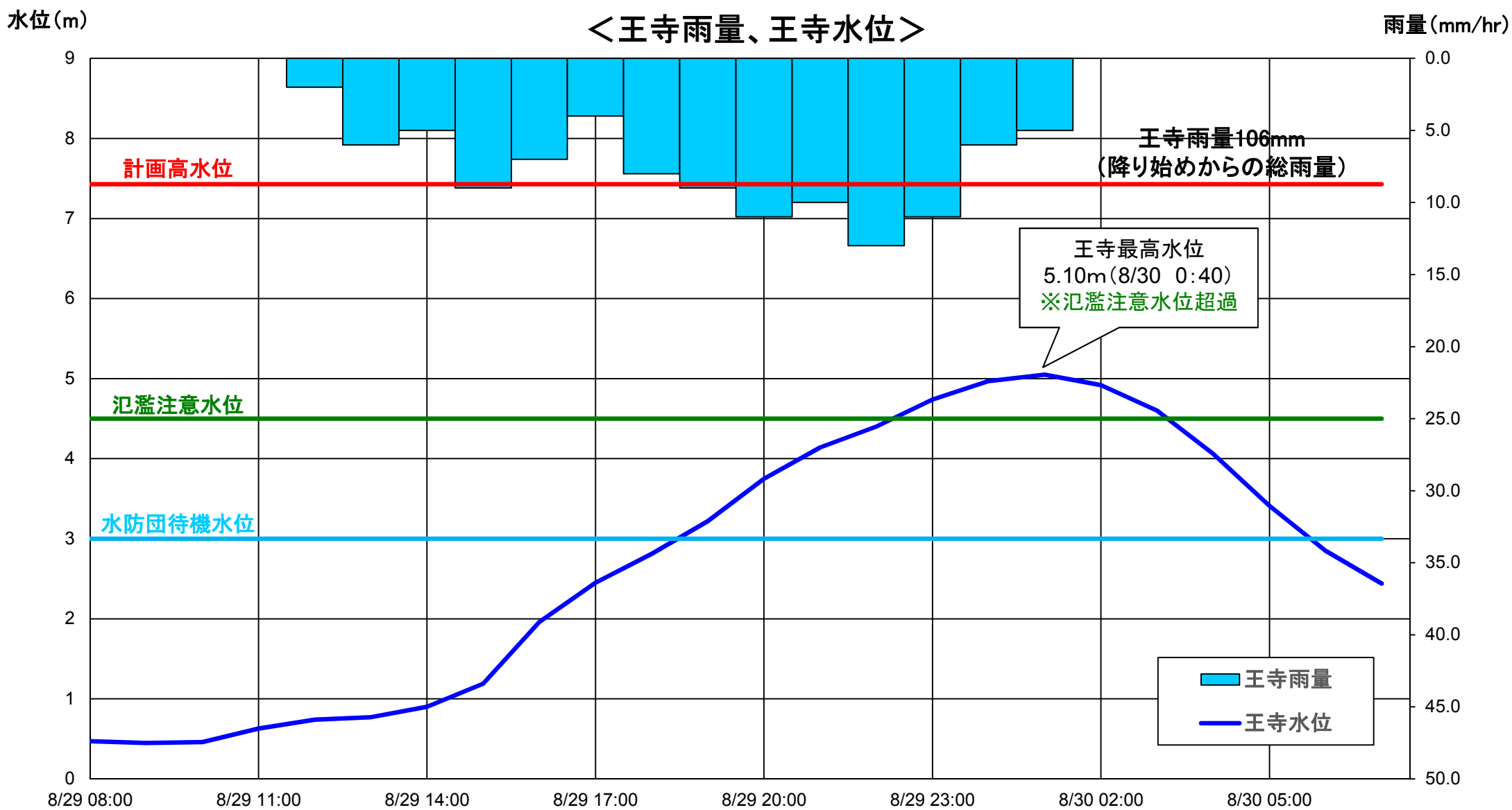
凡例
 □: 総雨量120mm以上
 □: 総雨量120mm未満



※速報値であり、今後の精査により変更することがあります。

平成28年台風10号及び低気圧による出水概要(王寺地点)

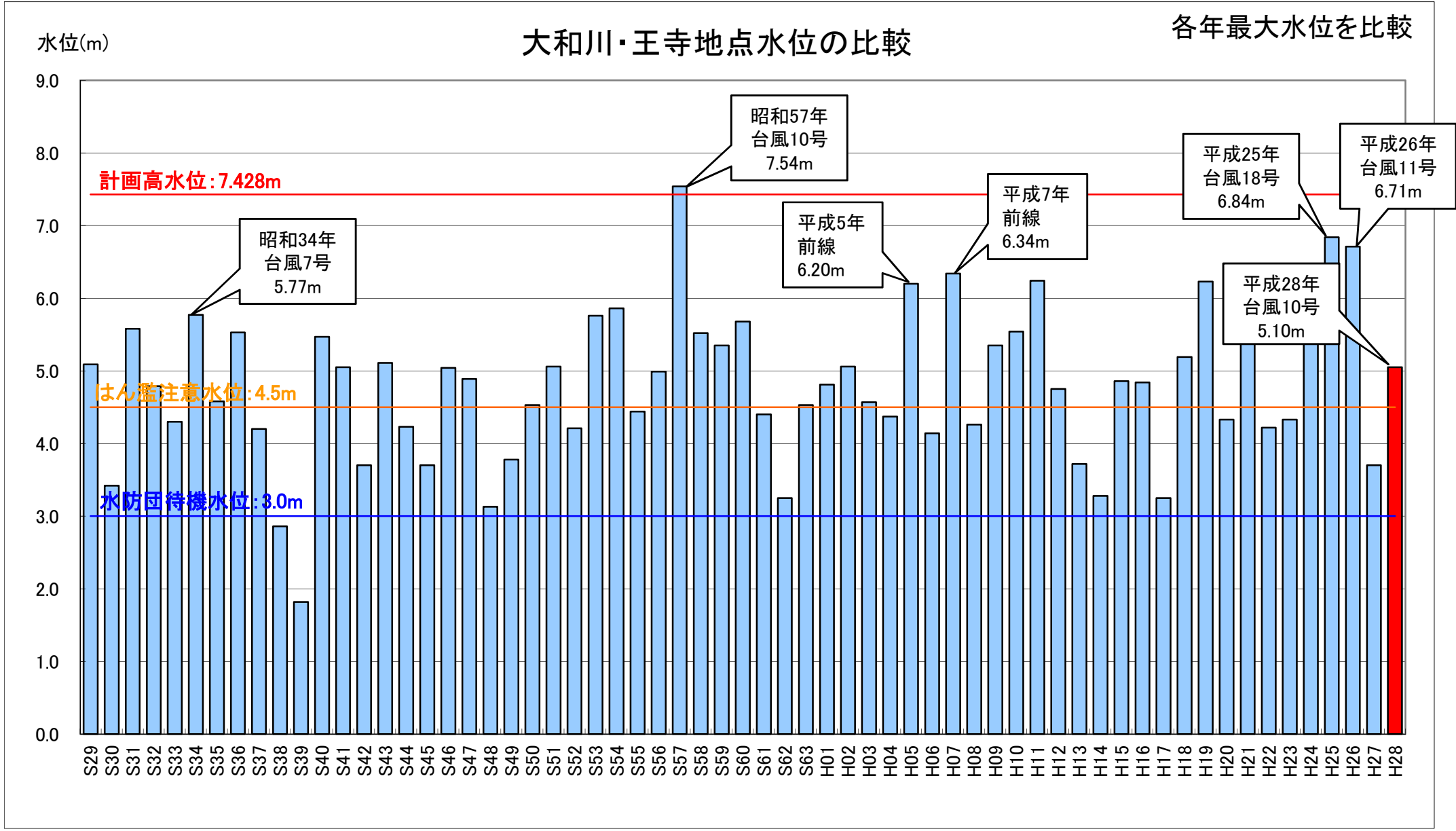
○王寺地点では、29日12時から30日1時にわたって雨が降り続き、30日0時40分に最高水位5.10mを記録。



※速報値であり今後の精査により変更することがあります。 3

過去の洪水との比較(王寺水位観測所)

○王寺水位観測所では、はん濫注意水位(4.5m)を上回る5.10mの水位を記録



事務所体制・水防警報発令状況

- 大和川河川事務所では、29日17時に注意体制を発令。29日21時に第一警戒体制に更新
- 保田地点では、30日0時に水防警報（出動）を発表。30日2時40分水防警報（解除）
- 30日3時50分に第一警戒体制から注意体制に更新
- 30日9時40分に体制を解除

事務所体制指令書

発令日時	種類	発令理由
8月29日 17:00	注意体制発令	樋門等の操作体制をとる必要が予想されるため
8月29日 21:00	第一警戒体制 更新	流域平均累加雨量が70mmになったため
8月30日 3:50	注意体制 更新	藤井地点において氾濫注意水位を下回ったこと及び樋門操作の必要がなくなったため
8月30日 9:40	注意体制 解除	水位が水防団待機水位より低下したこと及び巡視による点検が完了したため

水防警報（大和川河川事務所発表）

地点名	発令日時	種類
保田	8月30日 0:00	水防警報（出動）
	8月30日 2:40	水防警報（解除）

大和川 平成28年台風10号及び低気圧による出水状況写真



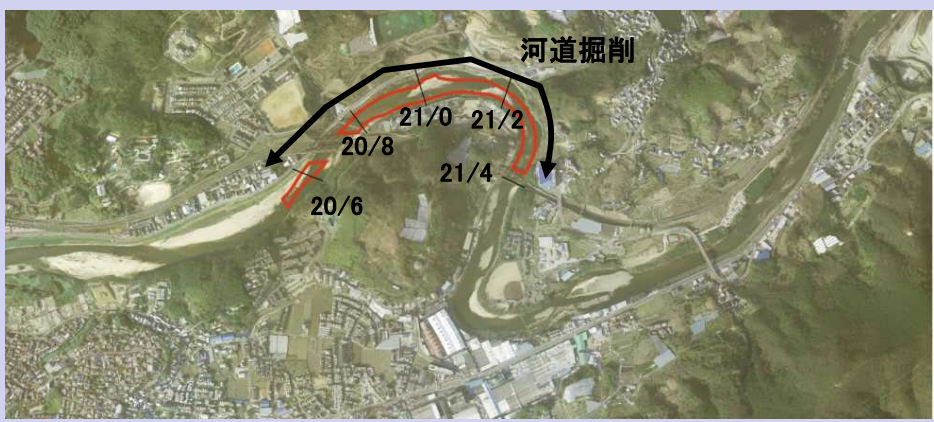
○大和川水系では、国分市場地区の流下能力向上のため平成25年度に、河道掘削事業（約2万3千m³）を実施。
 ○平成28年8月台風10号及び低気圧による洪水では、大和川中流の柏原市国分市場地区（河口から21.0km地点）において、約0.18mの水位低下の軽減効果があったと推定される。

◆出水規模の比較

	柏原地点	
	水位(m)	流量(m ³ /s)
計画高水位	7.315	—
昭和57年8月台風10号	4.64	2,497
平成28年8月台風10号	2.77	1,258

注) H28.8月台風10号の水位、流量は速報値

○平面図



事業の効果

